

令和5年11月2日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学国際機構のMAMMADOVA Aida准教授の推進する事業が ユネスコ／日本ESD賞を受賞！

このたび、金沢大学国際機構のMAMMADOVA Aida准教授が推進する「日本のユネスコ生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）およびジオパーク内の遠隔地域活性化を目的とした世代間学習」事業が、ユネスコ／日本ESD賞を受賞しました。

ユネスコ／日本ESD賞は、世界中のESD実践者にとってより良い取組に挑戦する動機付けと、優れた取組を世界中に広めることを目的として、日本政府の財政支援により、2014年からユネスコが実施している顕彰事業です。ESD活動に取り組む機関・団体が実施する優れたプロジェクトを表彰するもので、2021年より2年に1回、3件の事業が選出され、受賞機関・団体には50,000USドル／件が授与されます。

今年は、51の加盟国政府とユネスコと公式提携している7つの団体から提出された92件の中から3件が選ばれました。令和5年11月にパリで開催される第42回ユネスコ総会にて授賞式が行われる予定です。日本の機関・団体が受賞するのは、賞の創設以来、2件目となります。

つきましては、本件について取材・報道をお願いします。

「日本のユネスコ生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）およびジオパーク内の遠隔地域活性化を目的とした世代間学習」事業（金沢大学）

事業概要：

本プロジェクトは、白山ユネスコエコパーク及び白山手取川ジオパーク登録地域を活用し、ESDを実践するものであり、2015年に金沢大学のMAMMADOVA Aida准教授が、地元のNPO法人白山しらみね自然学校の山口隆氏と共同で開始した。高齢化が進む過疎化した農村地域で、留学生と地域住民の世代間交流を促進することに焦点を当てている。この交流が両世代の価値観や行動に良い変化をもたらし、持続可能な社会の実現に向けた地域活性化に貢献している。

文部科学省ウェブサイト「ユネスコ／日本ESD賞」

URL：<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1370106.htm>

<本件に関する照会先>

金沢大学国際部国際企画課 隅田

Tel：076-264-5247

Fax：076-234-4043

E-mail：g-planning@adm.kanazawa-u.ac.jp

<広報担当>

金沢大学広報戦略室 松井

Tel：076-264-5024

Fax：076-234-4015

E-mail：koho@adm.kanazawa-u.ac.jp